



きたそらち

2023
11月号
No.272

～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



音江中央保育園で今年も行われたバケツ稲が無事終了しました！
子どもたちの頑張りをSNS (Instagram・Facebook・YouTube) で発信していきますのでぜひご覧ください♪
→記事の詳細は5ページ

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を発信中です！ぜひ、ご覧ください！



ホームページ



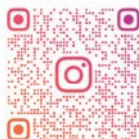
YouTube



Facebook



Instagram



JA.HITASORACHI

目次

- 秋のふかがわ農業感謝祭 新米&そばフェスタ・・・ 2
- 北竜町産『彗星』を使った日本酒がグランプリ・・・ 3
- JA職員農作業実習報告 …………… 9
- 営業時間変更のお知らせ …………… 11

秋のふかがわ農業感謝祭 こめっち新米&そばフェスタ

10月15日、「秋のふかがわ農業感謝祭 こめっち新米&そばフェスタ」が深川市の生きがい文化センター前特設会場で開催された。

開会にあたり、同イベント実行委員長の田中昌幸深川市長は、「今年は厳しい夏となり作物の品質に大きな影響が出ていると聞いている。まずは農家の皆様が収穫の秋にむけて苦労を重ねられたことに感謝を申し上げます。収穫のお祭りですのでお米・そば・りんご・野菜など深川で採れた農畜産物を味わっていただきこれからも消費して頂ければ」と挨拶した。

会場では、深川産新米の特価販売が行われ、ふかがわまい生産組合が「令和5年産の美味しい新米はいかがですか」と穫れたての新米をPRしながら販売した。

またボランティアグループあみていえが深川産の農畜産物をふんだんに使用した豚汁と新米ななつぼしのおにぎり2つのセットを販売、さらに小学生以下にミニトマトの詰め合わせを無料配布し、開始から約1時間で完売となるほど好評だった。他にも深川産手打ち新そば、深川牛、ふかがわポークの販売や野菜の袋詰め販売、新米の無料配布などもあり来場者は深川産の農畜産物を食べ、家族や友人とイベントを楽しんだ。

またお米をテーマにしたアトラクションも企画され、新米すくいどりやお米重量当てゲームなどには多くの家族連れなどが参加した。

同イベントに訪れた女性は「色々なものがとにかく安い！深川の秋の味覚をたくさん楽しみたいと思います」と笑顔で話す。



道の駅ライスランドふかがわ大収穫祭



10月8日、深川市道の駅「ライスランドふかがわ」で『大収穫祭』が開催され、大勢の来場客で賑わった。

大収穫祭では、4年ぶりに復活した「新米カレー」の他に、道の駅の各テナントで特別メニューの販売や特価での販売が行われた。

当JAではふかがわまい生産組合による「深川産新米『ななつぼし』のすくい取り」、ふかがわ肉牛組合による「牛串・もつ鍋販売」、販売部農産課による「とうやの量り売り」を屋外特設会場にて開催した。特に同肉牛組合のブースでは牛串約300本、もつ鍋約50杯が完売。また、新米すくい取りは一度もお客様の列が途切れることがなく、この日用意した「ななつぼし」300kgが開始からわずか2時間弱でなくなるほど好評だった。

また、館内の農産物直売所e c i Rでは新米や深川市特産のりんご、秋野菜などこの時期しか食べられない秋の味覚を求めお客様で溢れ、今シーズン一番の売り上げを記録した。





北竜ひまわりライス 新米大感謝祭



9月30日、北竜町農畜産物直売所「みのりっち北竜」前で「北竜ひまわりライス新米大感謝祭」が開催された。この日は、北竜ひまわりライスの「ななつぼし」「ゆめぴりか」「おぼろづき」「きたくりん」、もち米「風の子もち」の新米が特価で販売されることもあり、開場前から来場客が長い列を作り、穫れたての新米を買い求めた。

同イベントの実行委員である北竜ひまわりライス生産組合の生産者や、JA北清裕邦北竜地区代表理事などJA役職員が店頭に立ち販売した。

会場では、「北竜ひまわりライスの新米」や「燦燦ひまわり油」など町の特産品が当たるガラポン抽選会や、直売所内で行われた採れたて野菜などの特価販売も人気を集めた。

また、今年は浜頓別町のホタテと毛ガニの販売も別ブースで行い、来場した女性は「新米と海産物が一緒に手に入るとは思わなかった。家族みんなで食べるのが楽しみ」と語っていた。

【北竜支所 内村】



北竜町産『彗星』を使った日本酒がグランプリ

道産日本酒・道産酒米のブランド力の認知度向上、落ち込んでいる日本酒需要の回復を図ることを目的として2021年から行われている「北海道米でつくる 日本酒アワード2023」で北竜町産「彗星」を使った龍神酒造株式会社の「龍神 特別純米」がグランプリに輝いた。

同大会は、道内外から19銘柄が出品され、専門家・一般消費者300名による評価でグランプリをはじめとした各部門賞7点が決まる。

10月10日、札幌ビューホテル大通公園 ピアリッジホールで同大会の表彰式が行われ、北竜町の「彗星」生産者である渡辺靖範氏、出口宜伸氏、北清裕邦地区代表理事が登壇した。

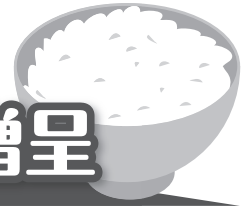
生産者代表として渡辺氏は「自分が作ったお米で日本酒ができることが本当に嬉しく感動している。この賞を励みに我々生産者もより一層良いものを作っていきたいと思います」と挨拶した。

表彰式後には、「龍神」をはじめとする同大会に出品された日本酒19銘柄の試飲会が行われ、表彰式出席者は交流を深めながら日本酒を味わった。



1市3町へ

令和5年産米の作況報告・新米贈呈



10月17日、岩田清正組合長をはじめJA常勤役員が深川市・雨竜町・北竜町・幌加内町を訪問し、令和5年産米の作況報告と新米贈呈を行った。

深川市では、深川産新米「ふっくりんこ」5kg、「ゆめぴりか」5kgを手渡し、受け取った田中昌幸深川市長は「今年は高温障害もあり大変苦労されたと思うが、美味しい新米を作って下さりありがとうございます」とお礼を述べた。

岩田組合長は5年産米の作況について、「高温障害の影響で厳しい年となったが、勉強になる一年だった。来年も美味しい新米を届けられれば」と報告した。



深川市



雨竜町



北竜町



幌加内町



田中深川市長

市内米検査場を巡回視察

9月20日、田中昌幸深川市長による市内米検査場の巡回視察・表敬訪問が行われ、田中市長は当JAの集出荷施設5か所にて、令和5年産米の集荷状況等を確認した。

深川マイナリーでは、JA販売部職員が令和5年産米における品質やタンパク値などの概況、集荷作業の進捗状況を報告。その後、田中市長は稼働中の施設内に入り、JA職員による下見検査や荷受操作などを視察した。

田中市長は、「高温障害の影響を受けタンパク値は高いようだが、無事に収穫が進んで良かった。美味しい新米を心待ちにしています」と話す。





深川市の小学校で 稲刈り体験学習



9月7日 北新小学校 (松本拓磨氏宅)



9月19日 深川小学校 (農業センター)



9月19日 音江小学校 (石川大輔氏宅)

深川市内の各小学校5校で、9月7日から今年も稲刈り体験が行われた。児童たちは5月に田植え体験を行っており、稲刈り体験では児童たちの手で植えた稲を青年部員や受入農家から丁寧な指導を受けながら鎌で手刈りを行った。児童たちは「稲刈りがとても楽しかった。農家の人の苦勞がわかりました」と作業を楽しみながらも食べ物を栽培する苦勞を学んだ。



9月20日 一巳小学校 (農業センター)



9月21日 多度志小学校 (竹内誠氏宅)



子どもたちがバケツ稲体験♪ 稲刈り&おにぎりづくり!!



YouTube・
Instagramで
ご紹介♪

食農教育の一環として音江中央保育園年長クラスの園児を対象に「バケツ稲体験」を実施し、9月に「稲刈り体験」、10月には「脱穀・粃すり体験」「おにぎり作り」を行った。

JA職員がサポートを行い、9月には稲の収穫を迎えることができた。

9月6日、園児8名が参加し稲刈りとはさがけ体験を行った。稲を刈る際は、当JA職員と一緒に鎌を持ち自分で育てた稲を夢中になって刈り取った。

子どもたちは「硬くて刈るのが難しかった」「早く食べてみたい」と元気いっぱい楽しんでた。

10月11日には、茶碗2つを合わせ、稲を挟んで引っ張り、取れた粃を野球ボールですり潰すという子どもでも簡単にできる方法で脱穀・粃すり体験を行った。

一週間後の10月17日、当JAの施設で粃摺りと精米を行ったお米(ゆめぴりか)を保育園へ持ち込み「おにぎり作り」が行われた。“アツアツ”のご飯に苦戦しながらも全員無事ににおにぎりを作り、給食と一緒に実食した。

体験を通して子どもたちは「自分で作ったからおいしいね〜!」「お米を作るのが楽しかった!」と笑顔で感想を話していた。

「バケツ稲」は1年を通して、「お米」がどうやって出来るのかを子どもたちが楽しく学べる良い体験となった。



JAきたそらち女性部

福祉施設へ タオルを 贈呈

JAきたそらち女性部（部長 高田聡子）は、地域貢献の一環として平成16年から実施している「部員タオル1本運動」を行った。

部員がタオルを1人一本以上持ち寄り各地域の福祉施設へ贈るこの運動は、今年度から新たな施設が増え10施設に計716本のタオルを寄贈した。

集められたタオルは、館内清掃や使いやすいサイズに切り清拭に使用される。

各施設から「いつも沢山のタオルをありがとうございます。有効に使わせていただきます」と大変喜ばれた。

贈呈施設

- ・介護老人保健施設 エーデルワイス
- ・永福園 デイサービスセンター
- ・深川特別養護老人ホーム 清祥園
- ・老人ホーム こんにちわ金さん銀さん
- ・多度志生活支援ハウス しらゆりの里
- ・特別養護老人ホーム 雨竜寿園
- ・認知症高齢者グループホーム 碧水
- ・社会福祉法人 北竜町社会福祉協議会
- ・特別養護老人ホーム 北竜町永楽園
- ・地域密着型特別老人ホーム テルケア

贈呈施設 介護老人保健施設 エーデルワイス



贈呈施設 永福園 デイサービスセンター



贈呈施設 深川特別養護老人ホーム 清祥園



贈呈施設 老人ホーム こんにちわ 金さん銀さん



贈呈施設 多度志生活支援ハウス しらゆりの里



贈呈施設 特別養護老人ホーム 雨竜寿園



贈呈施設 社会福祉法人 北竜町社会福祉協議会



贈呈施設 特別養護老人ホーム 北竜町永楽園



贈呈施設 認知症高齢者グループホーム 碧水



贈呈施設 地域密着型特別養護老人ホーム テルケア



深川西高校の生徒がフィールドスタディ

10月5日、深川西高等学校1年生7名が当JAにおいてフィールドスタディを実施した。

フィールドスタディとは、企業見学や職場体験を通して、企業と企業、企業と地域とのつながりや企業が取り組んでいる社会課題を知り、社会や地域についての学びを深めることを目的とする訪問学習のことをいう。

人事課によるJAきたそらちの紹介後、精米施設と農産物直売所e c i Rを見学し製造から販売までの流れを学んだ。

見学後の質疑応答ではe c i Rで販売している米粉クッキーなどを試食しながら和やかな雰囲気の中「1日のスケジュールは?」「やりがいがありますか?」などの質問があった。

参加した学生からは「消費者との繋がりを大切にして、いろいろなニーズに対応していることがわかった」「他の施設にも興味があるので見学してみたい」などの感想があった。

【総務部 墓田】



滝川西高校の生徒がインターンシップ(事業所訪問学習)

10月11日、滝川西高等学校2年生2名が当JAにおいてインターンシップ(事業所訪問学習)を実施した。

同高校では、実社会における就業体験・探究活動を通し、望ましい職業観や勤労観を育成するために情報マネジメント科2年生を対象にインターンシップを実施している。

人事課によるJAきたそらちの紹介後、精米施設と農産物直売所e c i Rにおいてそれぞれ90分間の実習をおこなった。最初は緊張した面持ちで作業にあたっていたが、職員からの指示にもスムーズに対応していた。

実習後は、事前に当JAについて調べたことについて学生からプレゼンテーションがあり、その後質疑応答をおこなった。二人に感想を尋ねると「レジ打ちは3年生になると実習がある。緊張したけれどその前に体験できて楽しかった」と笑顔で答えた。

【総務部 墓田】



令和5年度 JAきたそらち地域農業応援団第3回

～そば打ち体験・シードル工場見学～



9月19日、第3回 地域農業応援団が開催され16名が参加した。今回は音江地区の「アグリ工房まあぶ」でそば打ち体験、「山の駅おとえ」でシードル工場の見学などを行った。そば打ち体験では、素人そば打ち段位認定制度の有段者である金融共済部

井上正恵部長からそば打ちの手順をデモンストレーションで学んだ後、団員二人一組で協力しながら多度志地区産の新そば粉を使用したそば打ちに挑戦した。初めて体験するという団員が多く苦戦しながらも「水まわし」「練り」「のし」「切り」の工程を経て持ち帰り用のそばを打った。昼食では、深川産の農畜産物を使用したお弁当と打ちたての新そばを堪能し、改めて手打ちそばの美味しさを実感していた。



昼食後は、金融共済部渉外課職員より「終活に向けた相続のいろいろ」と題し、財産管理や相続対策などをJA共済の商品紹介と併せて講話を行った。午後からはアップルランド山の駅おとえにおいて深川産りんごを原料としたシードルの製造工程を学んだ。今回は特別に工場内を見学させていただき、見学後には深川産洋ナシを使用したアルコール「ポワレ」を製造する前の凍結濃縮した果汁を試飲させていただくなど団員も満足した様子だった。参加した団員は「そば打ちは家でもやってみたい。今回も楽しかった」と感想を話す。



【総務部 墓田】

読者の感想

9月号に寄せられたコメントを紹介!

当広報誌のクロスワードクイズへご応募頂いた、読者の皆様の「身近な出来事」「広報誌への感想」をご紹介します。ご応募ありがとうございました!

事故の案件のチラシを見ました。仕事にケガは付き物ですが、事故になる前の小さな“ヒヤリ”“ハッと”を共有できれば少しでも事故・ケガが少なくなるのではと思います。

「北竜町メロン・すいか祭り」こういうイベントいいですね!

今年の夏は暑かったですね。庭に3m×2mのプールを奮発して設置しましたが、子どもたちが小学校高学年以上と大きくなってあまり遊ばなかったのがさみしい。

今年ほど暑い年は珍しい。深川唯一のプールに入り、体をいたやりました。

ガン保険の内容が心配で農協の共済へ行きました。色々話しているうちに職員の方と2人で涙…。優しい対応で安心しました。



JA職員 農作業実習報告 第1回

当JAでは、人財育成プログラムの一環として、入組2年目の若年職員を対象とした農作業実習を実施いたしました。近年、農家子弟以外の新規採用職員も増え、農業に対する接点も乏しいことから、農業体験を増やすこと、さらに組合員の想いを直接職員へ伝えていただくことを目的に、JA非常勤役員宅にて実習をさせていただきました。各実習生の感想と今後の抱負を第1回から第3回に分けて掲載しご報告させていただきます。

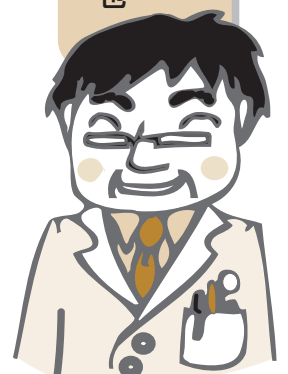
①実習先 / ②実習期間 / ③作業内容 / ④感想

青果部施設課 横瀬 路偉 (令和4年4月入組)	
①雨竜支所 遠藤清明 地区代表理事、 宮武 稔 監事	②令和5年5月19日～5月25日
③田植え作業(苗はがし、運搬、田植え機補助 他)、アスパラ収穫 他	
<p>④遠藤地区代表理事、宮武監事のお世話になり、実際農作業を経験し、田植えの大変さを知ることができました。初めての田植え作業だったため、どんなことをしたらいいのか想像が出来ませんでした。そして、各々やり方があり最初は慣れませんでした。が、わかりやすい指導をしていただいたので次の行動を予測して作業できるようになりました。実際に「指示しなくても行動できるから楽だよ」「飲み込みが早くて助かる」というお言葉をいただいて、自分が役に立っていることを感じることができました。個人的には効率よく作業を進めるため、待機の時間などを有効に使い次の行動をよく考え、行動できたことが良かったと思います。遠藤地区代表理事宅では田植えだけでなくアスパラの収穫、宮武監事宅ではメロンの育苗管理など米以外の作業も同時に行っており農家の大変さを改めて知りました。この経験を活かし、日頃から次は何をしたらいいのかを考え、行動できるように頑張っていきたいです。多くのことを教えていただきとても有意義な実習となりました。ありがとうございました。</p>	



雨竜支所営農課 佐藤 恭丞 (令和4年4月入組)	
①雨竜支所 遠藤清明 地区代表理事、 宮武 稔 監事	②令和5年5月22日～5月25日
③田植え作業(苗はがし、運搬、田植え機補助 他)、アスパラ収穫	
<p>④遠藤地区代表理事、宮武監事に色々な体験をさせていただきました。実習では苗はがしと苗運びの2つで特に苦労しました。体力には自信がありましたが田植え靴を1日中履いて作業することに慣れていなかったため、腕よりも脚が特に辛かったです。しかし、実習は辛いだけではなく田植え機に乗って田植えをすることが初めての経験だったので、乗れたことが嬉しかったです。一見簡単そうに見える田植え機の操縦も、実際に体験してみると全然真っすぐ進められなく苦戦しましたが、コツを掴んだ後は真っすぐ進められるようになると楽しさも感じる事ができました。そんな中、夕方西日が田んぼの水に反射し、マーカーが見えにくく右斜め方向に進んでしまった時は機械操作の大変さを改めて知りました。</p> <p>5日間の農業実習を通して田植え作業の大変さを実感しました。田植え期間の作業の流れを実際に経験出来たこと、実習を受け入れて下さった遠藤地区代表理事、宮武監事のご家族とも色々な話をすることが出来たことで5日間とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。</p>	





アトピー性皮膚炎とは、強いかゆみを伴う皮膚の病気で、症状がよくなくなったり悪くなったりを繰り返すことが特徴です。また、アレルギー性疾患を発症しやすい体質のことをアトピー素因と呼び、アトピー性皮膚炎の多くの患者さんがアトピー素因を持っています。

アトピー性皮膚炎に悩まれる患者さんの年齢層は小児から成人まで幅広く、小児の10%以上に発症するといわれています。アトピー性皮膚炎によるかゆみはとても強く、お子さんの成長や発達過程にも影響が及ぶこともあります。

また、特に乳幼児のアトピー性皮膚炎は、食物アレルギーと密接に関連していることもあり、皮膚だけに限った病気として捉えるのではなく、包括的な対策をとることが重要とされています。

原因

刺激物やアレルギーが原因で皮膚に炎症が引き起こされると、ヒスタミンをはじめとしたかゆみ成分が大量に産生されるようになり、とても強いかゆみを伴うようになります。

正常な皮膚の大切な機能のひとつとして、外部からのさまざまな刺激から体を守るバリア機能を上げることができます。

しかし、アトピー性皮膚炎を起こしている皮膚では、このバリア機能が低下しているため、外部からの刺激が皮膚のなかへ簡単に侵入して炎症を引き起こしやすい状況にあります。外部からの刺激の例として、左記のようなものが挙げられます。

黄色ブドウ球菌をはじめとした細菌

汗

食物残渣（ごんさ）

ホコリなどのアレルギー

機械的刺激など

特に乳幼児の皮膚はバリア機能が未熟であるため、アトピー性皮膚炎を起こしやすいといわれています。

小児の場合

小児では、アトピー性皮膚炎により成長や発達に影響が出ることがあります。アトピー性皮膚炎によるかゆみは非常につらいものがあり、夜間の睡眠が障害されることもしばしば

ばあります。寝不足から日中の集中力が低下することもあります。

この場合には、幼稚園や小中学校といった集団生活の場における人間関係の構築に影響が出ることもあります。また、睡眠不足から学業に支障をきたすこともあります。

さらに、治療がうまくいっていないときには特に、バリア機能が障害された皮膚から栄養喪失が生じてしまい、年齢相応の成長を達成することができないこともあります。

乳幼児の場合

乳幼児においては、食物アレルギーと関連してアトピー性皮膚炎の皮膚症状が現れることがあります。アトピー性皮膚炎に対して治療をしているにもかかわらず皮膚症状がなかなか改善しないときには、背景に食物アレルギーが隠れていることを疑う必要があります。アトピー性皮膚炎では、皮膚がかきむしられることで皮膚に細菌が付着しやすくなり、細菌感染を併発することもあります。

営業時間変更のお知らせ

【金融共済部】

11月からATMの稼働時間が下記の通りとなります。

	ATM稼働時間（11月～翌年3月）		
	平日	土曜日	日曜日・祝日
イチヤン本所	9:00～17:30	9:00～17:00	9:00～17:00
金融共済深川支所		9:00～12:00	稼働しません
金融共済音江支所		稼働しません	
金融共済納内支所			
金融共済多度志支所			
金融共済雨竜支所		9:00～12:00	
金融共済北竜支所			
北竜町COCOWA			
金融共済幌加内支所			

※12月31日及び1月1日～3日はATMは稼働しません。

※各店舗（窓口）の営業時間は

<イチヤン本所、深川支所、雨竜支所、北竜支所、幌加内支所> 平日9:00～16:00

<音江支所、納内支所、多度志支所> 平日 午前の部 9:00～11:30 午後の部 12:30～16:00

(11:30～12:30は昼休み<窓口閉鎖>とさせていただきます。)

【経済部 燃料課】

11月からSSの営業時間が下記の通りとなります。

SS営業時間（11月～翌年3月）		
セルフ	音江	8:00-19:00
	深川	
	イチヤン	
フル	納内	8:00-18:00
	多度志	
	北竜	
	幌加内	



【道の駅農産物直売所 eciR】

直売所営業時間（11月～翌年3月）

9:00-17:00



農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ

北海道農業協同組合中央会
代表理事会長 樽井 功



昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で76年を迎えました。戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

新型コロナウイルス感染症の位置付けは本年5月より5類に移行し、コロナ禍以前の日常を取り戻しつつありますが、各農畜産物の消費は依然として低迷しており、さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大なものとなっています。

コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっています。

JAグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組むことが重要であり、国民の命の源である食を守り続けるにも、まさに新しい農業を築き、未来の世代へ繋いでいかなければなりません。

この厳しい時代だからこそ、国民が必要とし消費する食料はできるだけその国で生産する「国消国産」という考え方は、消費者に知っていただきたい大切なテーマであり、1945年に国連食糧農業機関（FAO）が発足した日、さらに1981年に国連が「世界食料デー」に定めた日である10月16日を、「国消国産の日」として制定し、令和3年に日本記念日協会に登録しました。

今こそ、この国消国産の周知、さらにはJA北海道大会で確認された550万人サポーターづくりを推進するべく、JAグループ北海道が一体となって「アグリアクション北海道」と題した統一した取組みをしっかりと実践することが必要となります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

金融共済部からのお知らせ

知って得する農業者年金

安心の
終身年金

農業者の方は、
国民年金の上乗せの公的な年金「農業者年金」に加入し豊かな老後を！

ポイント

1

農業者なら誰でも入れる「終身年金」です！

- ①年間60日以上農業に従事し、国民年金第1号被保険者（保険料免除を除く。）である20歳以上60歳未満の方、又は60歳以上65歳未満の国民年金の任意加入者が加入できます。
- ②農業者年金は積立方式・確定拠出型で少子高齢化時代に強い。

死亡一時金もあり安心

80歳前に死亡した場合には、80歳までに受け取る農業者老齢年金の現在価値相当額を一時金として受け取れます。※加入期間等により保険料の払込額を下回る場合があります。

ポイント

2

一定の要件を満たす方には保険料の 国庫補助（月額最大1万円）があります。

認定農業者で青色申告の方や、その方と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者の方など、一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助（月額2万円の保険料のうち最高1万円、通算すると最大で216万円）があります。

この国庫補助は経営継承など一定の要件を満たせば将来特例付加年金として受給できます。また、経営継承の時期について年齢制限はなく、事情に応じて受給の時期を決められます。

ポイント

3

生涯を通じて税制面で大きな優遇措置があります。 保険料は全額社会保険料控除の対象

- 支払った保険料は家族も含めて全額が社会保険料控除の対象。
- 所得税・個人住民税・復興特別所得税が節税になります。
（支払保険料の15%~30%程度が節税。）
- 保険料の運用益が非課税 ●将来受け取る農業者年金には公的年金等控除は適用されます。
- 死亡一時金は非課税です。

事務経費は国が負担しているため、払った保険料の全額が運用されます。

詳しくは… [農業者年金基金](#) [検索](#) <https://www.nounen.go.jp>

またはお近くのJA窓口までお気軽にお問合せ下さい。



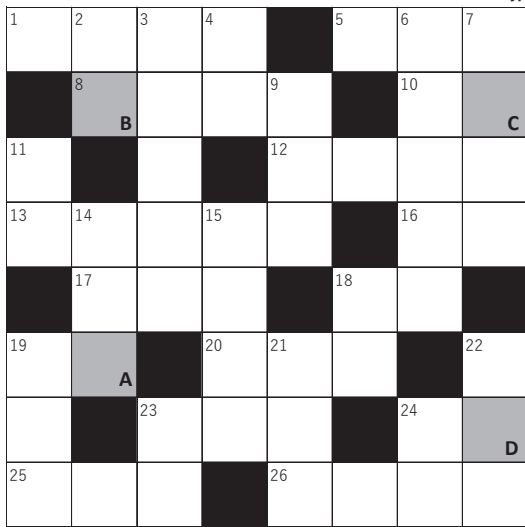
 JA きたそらち

本所 TEL 0164-34-7150
イチヤン本所 TEL 0164-22-6618
音江支所 TEL 0164-25-1111
深川支所 TEL 0164-22-2171
納内支所 TEL 0164-24-2211

多度志支所 TEL 0164-27-2111
雨電支所 TEL 0125-77-2331
北竜支所 TEL 0164-34-2280
幌加内支所 TEL 0165-35-2024

クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



A	B	C	D
---	---	---	---

【タテのカギ】

- 2 水蒸気が上空で凍って降り、積もるもの。
- 3 車輪が二つある車。自転車・オートバイなど。
- 4 夏の次の涼しい季節
- 6 話し合うこと
- 7 多額の金銭
- 9 脳・頭・脳の働き。考える力「〇〇戦」「〇〇プレー」
- 11 入れ物に何も入っていないこと
- 14 一晩。夜が明けけるまで
- 15 降り積もった雪をかいて除くこと。除雪。またそのための道具
- 18 一桁同士の掛け算の一覧表や暗記の仕方
- 19 想像上の動物。頭の上に皿がある。
- 21 歌を歌うことを仕事にしている人。歌手。
- 22 鳥類の体表を覆っているもの。
- 23 屋間は陸と海ではどちらがあたたまりやすいか
- 24 たんすや机、いすなど室内で使用する大きな道具

【ヨコのカギ】

- 1 年少者。特に10代の少年少女。
- 5 田んぼと畑
- 8 刃物などで切った傷
- 10 太陽系の惑星で、地球よりも太陽に近い軌道をめぐる「〇〇惑星」⇔「外惑星」
- 12 次の苗字を何と読むか「野一色」
- 13 今週の次の週
- 16 意見・考え「〇〇を出す」
- 17 茶の湯に使う道具類。茶道具
- 18 地中に打ち込んで目印や支柱にする棒
- 19 蚊などの害虫から人などを守る網「〇〇の外」
- 20 商品の値段
- 23 次の苗字を何と読むか「力士」
- 24 鳥の一種。だましやうしい相手のこと
- 25 自動車や自転車などのタイヤに穴があくこと
- 26 手厚く待遇すること

9月号の正解は

「ジュウゴヤ」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市 上田美代子 様
 深川市 新井 勉 様
 雨竜町 芳本 和弘 様

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切10月31日消印有効で当選者とクイズの答えは令和5年12月号に掲載します。

【送り先】〒074-0015 深川市深川町字メム10号線山3線5850番地

JAきたそらち農業振興部営農企画課 FAXの場合は 0164-22-1228

【ホームページ応募フォーム】URL:http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。



十月俳句

● 雨竜俳句会

爽やかや両手を振って進む径
 レジエンドのスイング真似てハエたたき
 倒れるや自然相手の秋の田
 秋の風纏い機敏となりけり
 南瓜とりキャッチボールは大きすぎ

北川 満江
 小山 邦男
 松木 五月
 宮武めぐみ
 吉見サヨ子

● 「道」俳句会 北竜支部

指先に蜻蛉お前もひとり身か
 いたわりし案山子は我れのツナギ着て
 新菓の匂いに農夫夜勤明け
 子のもとへ旅立つ叔母や鱈雲
 親離れ子離れ出来ぬ群蜻蛉
 秋仕舞好きなフリーズロズさむ
 木守柿見つめておりし承らえて
 新米の艶とにのいの塩むすび

山本 玲子
 山岸 正俊
 阿部れい子
 吉尾 広子
 山下 好晴
 中島 雅子
 宮脇美和子
 佐藤美智子

● 土筆俳句会

断崖にひびく怒涛や露さゆる
 胡蝶蘭出窓に並べ病みし人
 新米の粒の輝く朝の膳
 新菓の匂ひ残して仕舞ひ田に
 生きるとは畑にイガ踏む鹿の跡
 布団かけシベリヤの父思う朝
 爽やかや万国旗揺れよーいどん
 新米の研ぐ手白く粒光る
 白秋や父の文箱にラブレター

高尾美津子
 池田 美知
 山川 輝子
 南川富美子
 佐藤英三子
 滝口富美子
 菅原 優子
 森田裕美子
 小橋 厚子

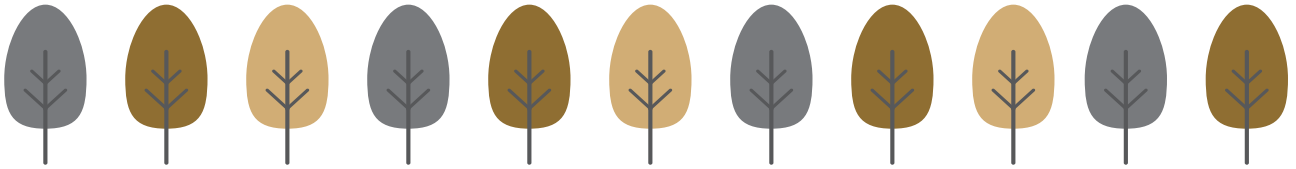
第10回理事会 〈令和5年10月6日開催〉 以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 内部監査報告について
3. 組合員の加入脱退について
4. 財務報告及び事業実績について
5. 固定資産の取得・修繕について
6. 職員の人事及び業務事故について
7. 貸出金の貸付報告について
8. ALM委員会の報告について
9. 令和5年度JA共済コンプライアンス点検結果について
10. 肥料価格高騰緊急対策事業（R5道費）について
11. うるち米を巡る情勢について

12. 令和5年産 米集荷状況について
13. 米在庫状況について
14. 令和5年産 共計大豆概算金について
15. 令和5年産 農産物集荷状況について
16. 販売未収金について
17. 令和4年産 種子大豆精算について
18. 令和4年産 馬鈴薯の精算について
19. 畜産物の販売実績について
20. 大豆転用種子における異品種混入の疑いについて
21. 青果・花き集荷販売実績について
22. 経済部事業実績について

- 議案第1号 令和5年度上半期棚卸立会及び上半期決算定期監査の結果について
- 議案第2号 組合員の出資金持分譲渡について
- 議案第3号 組合員規程の一部改正について
- 議案第4号 半期ディスクロージャー誌について
- 議案第5号 貸出金の貸付について

- 議案第6号 理事に対する貸出承認について
- 議案第7号 令和5年産米に係るJA概算金の設定について
- 議案第8号 令和4年産 共計玉ねぎ精算について
- 議案第9号 固定資産取得について（アスパラ選果機）



組合員の動き

(令和5年9月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,250	3	39	1,214
	団体	102	3	0	105
准組合員	個人	5,477	63	45	5,495
	団体	271	3	0	274
正組合員戸数		893	1	25	869



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和5年9月実績

○累計（R4.12～R5.9）

発電電力 **50,077kWh**

発電電力 **442,287kWh**

計画対比 +9,109kWh

計画対比 +73,191kWh

前年対比 +6,274kWh

前年対比 Δ40,995kWh

売電金額 2,003,080円（40円/kwh）

まとまった資金

あなたはどう活用しますか？

将来起こり得ることを“共済”で解決できるかもしれません！

ご好評いただいておりますJA共済の資金活用プランについてご案内です。

近年はマイナス金利による影響や私的保障による自助努力の必要性が高まっている世の中になりつつありますが、今後の将来、以下のようなことが誰にでも起こり得る可能性があることはご存じでしょうか。

遺産の分配を
めぐるトラブル

老後の生活費の
準備

介護の可能性と
自己負担費用の増加

相続・認知症時の
口座凍結など

JA共済では資産の一部を共済の仕組として置くことで、上記のリスクに対してお役に立つと同時に、メリットとして「相続税や所得税などの節税対策」をしながら「保障という利息」をお受け取りいただけます。

日ごろから意識されている方は少ないですが、この機会にご自身とご家族の将来のために**目的に合わせた“お金の置き方”**をご検討ください。

お気軽にJAまでお問い合わせ下さい！

お問い合わせ先

 **JA共済**

 **JAきたそらち**

本 所 TEL 0164-22-6619
音江支所 TEL 0164-25-1111
深川支所 TEL 0164-22-2171
納内支所 TEL 0164-24-2211

多度志支所 TEL 0164-27-2111
雨 竜 支 所 TEL 0125-77-2331
北 竜 支 所 TEL 0164-34-2280
幌加内支所 TEL 0165-35-2024